

鳥栖市投げ込み資料

平成31年3月22日

報道機関各位

鳥栖市明治維新150年記念事業実行委員会事務局
(商工振興課内)
事務局長 佐藤 道夫

中富三郎モニュメント除幕式の開催について

肥前さが幕末維新博覧会の開催に合わせて制作された中富三郎氏のモニュメントを、氏の功績と関係が深い中富記念くすり博物館に設置させていただくことになりました。

つきましては、下記のとおり中富三郎モニュメントの除幕式を開催いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 日 時 平成31年3月28日(木) 午前9時30分から
2. 場 所 中富記念くすり博物館(鳥栖市神辺町288番地1)
3. 内 容 中富三郎モニュメント除幕式(別紙資料参照)
4. その他 雨天実施(屋外で式典を行います)

(担当) 鳥栖市明治維新150年記念事業実行委員会事務局
(商工振興課内) 担当者 石丸

TEL 0942-85-3605

1. 中富三郎氏（1876～1957）

鳥栖市出身。

祖父・久光仁平^{ひさみつにへい}が 1847（弘化 4）年に創業した製薬・売薬の家業を継ぎ、1903（明治 36 年）年、27 歳の時に佐賀県三養基郡田代村（現在の佐賀県鳥栖市田代代官町）に久光兄弟合名会社を設立、社長に就任。

和紙に膏薬^{こうやく}を延ばした「朝日万金膏^{あさひまんきんこう}（消炎鎮痛貼付剤）」や「快腹丸^{かいふくがん}（健胃下剤）」などを販売し、国内外に販路を広げた。1934（昭和 9）年、58 歳の時に、のちに国民的な貼り薬となる「サロンパス（消炎鎮痛剤）」を発売する。

お客様を主体と考える「お客様第一主義」、人の為に陰で尽くす「陰徳」、それらによって築かれる信頼関係やブランド力を「無形の蓄財」として経営哲学とし、世界の久光へと躍進する礎を築いた。

（中富三郎氏ご説明看板より）

2. 除幕式 式次第

- (1) 開式
- (2) 委員長挨拶（鳥栖市長 橋本康志）
- (3) 除幕
- (4) 設置施設代表挨拶（中富記念くすり博物館 館長 中富貴代 様）
- (5) 閉式

※閉式後に記念撮影を予定しております。

3. 除幕式 会場位置図

中富記念くすり博物館の屋外で除幕式を行います。（雨天実施）

